

## テキサス州西部地区における特許訴訟担当判事割当て運用変更後の動向

2023年8月22日  
JETRO NY 知的財産部  
蛭田、福岡

テキサス州西部地区連邦地方裁判所の Waco 支部に多数の特許訴訟が提起されることから、2022年7月25日以降、同支部に提起された特許訴訟は、同地区内の12名の判事に無作為に割り当てられることとなった<sup>1</sup>。それ以前は、同支部の Albright 判事が多数の特許訴訟を担当し、議論を呼んでいた。

上述の運用変更から1年が経過し、特許訴訟提起状況の変化が注目されている。Unified Patents 社データベース「Portal」<sup>2</sup>によると、上位6地区に提訴された特許訴訟の件数および全連邦地裁に占める割合は、以下のとおりである。2022年7月25日から2023年7月24日までおよび前年同期間を分析した。

主な訴訟地区	運用変更後		運用変更前		件数増減率
	件数	対全体	件数	対全体	
テキサス州西部地区	768	19.5%	1,030	24.0%	-25.4%
デラウェア州地区	581	14.8%	837	19.5%	-30.6%
テキサス州東部地区	563	14.3%	475	11.1%	+18.5%
イリノイ州北部地区	240	6.1%	194	4.5%	+23.7%
カリフォルニア州中央地区	234	6.0%	211	4.9%	+10.9%
カリフォルニア州北部地区	204	5.1%	254	5.9%	-19.7%
全体（全連邦地裁）	3,936	-	4,295	-	-8.4%

テキサス州西部地区の訴訟件数は前年同期間の1,030件から768件に減少した。特許不実施事業体（NPE: Non-Practicing Entities）による訴訟件数の減少が米国全体の訴訟件数の減少理由とする見方もあり、同地区への訴訟件数の減少が同地区の運用変更に起因するものとは断定はできないが、一定程度の影響があると考えられる。

しかし、依然としてテキサス州西部地区が全体に占める割合が最も高くなっている。これは、運用変更後であっても、過去に Albright 判事が担当した事件と同じ原告、同じ特許の事件が Waco 支部に提訴された場合には同判事が担当していることが明らかになったためだと考えられている。

デラウェア州地区についても訴訟件数は837件から581件に減少している。同地区では2022年4月、第三者から訴訟資金を提供されている当事者に、訴訟資金提供に関する情報開示を求めるようにする命令が発出されたことが訴訟件数の減少につながっていると考えられている。

<sup>1</sup> [https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/\\_Ipnews/us/2022/20220729.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnews/us/2022/20220729.pdf)

（変更後1ヵ月後の動向）[https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/\\_Ipnews/us/2022/20220923.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnews/us/2022/20220923.pdf)

<sup>2</sup> <https://portal.unifiedpatents.com/litigation/caselist>

テキサス州東部地区は、訴訟件数が前年同期間の 475 件から 563 件に増加し、全体に占める割合も 11.1%から 14.3%に増加した。同地区は、特許訴訟に精通した判事が比較的多く在籍し、また、迅速な審理日程を設定しているともいわれていることから、件数の増加につながっていると考えられる。

(以上)